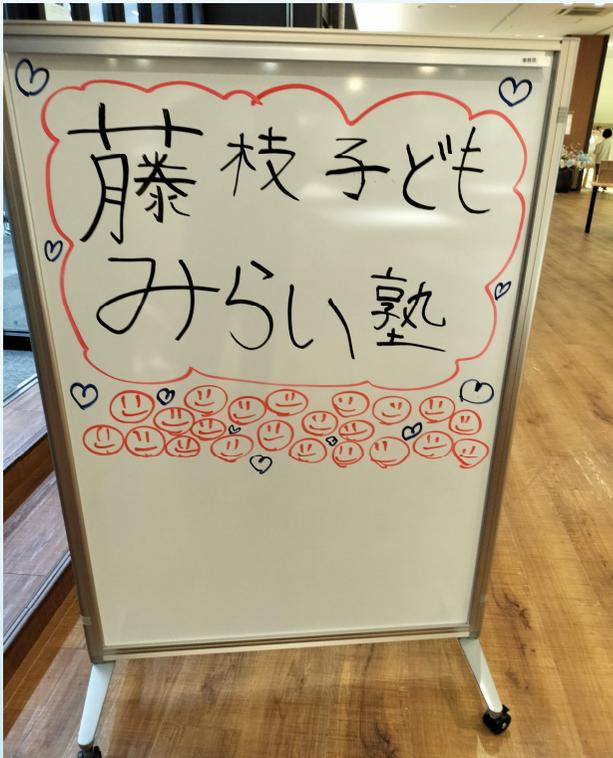


大学生による放課後学習支援活動 大学生と学ぼう！ 「藤枝子どもみらい塾」



静岡福祉大学子ども学部子ども学科
小林ゼミ、菅井ゼミ
小林 広昭 菅井 篤
発表学生 柴崎透馬 深津和馬
原圭吾 岩本京弥

研究の目的・内容

【目的】

大学生による小学生への放課後学習の場を設定し、実施することによる小学生、大学生への効果を検証する。

【内容】

10月から12月にかけての毎週金曜日15時から17時まで、BiViキャンにおいて、小学生への学習支援の場、「藤枝子どもみらい塾」を開催した。

小学生への学習支援として、国語・算数の2教科について宿題や学習内容についての支援、学校とは別に興味のある国語・算数に関わるプリント学習など、大学生から小学生への支援を行った。

研究の成果

(1) 当初の計画

令和6年10月～12月の金曜日15時から17時
10回程度

(2) 実際の内容(A)とその理由

A:会場の都合で次の9回実施

10月4日、11日、25日 11月8日、15日、29日
12月6日、13日、20日

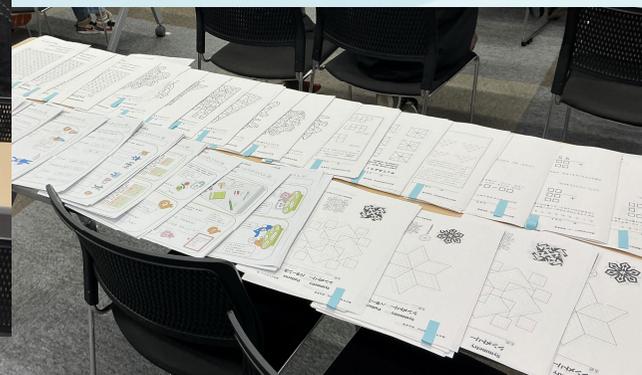
(3) 実績・成果と課題

①参加児童実績

10月4日、11日については、児童向けのチラシが配布
されていない関係で大学職員の子が2名ずつ参加。

学生は、3名、5名参加。

活動の様子



学校学年別参加人数							
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
青島小学校	4	2		2	12		20
青島東小学校	1	3	4	2			10
大洲小学校	3		1		1	1	6
岡部小学校	2						2
高洲小学校	1			1			2
高洲南小学校	3	2	2	1	1		9
葉梨小学校	1				1		2
藤枝小学校	2						2
藤枝中央小学校	2						2
藤岡小学校	0			1			1
合計	19	7	7	7	15	1	56

学校別参加回数人数								
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
青島小学校	10		3	2	1	2	2	20
青島東小学校	3	4	1		2			10
大洲小学校		4	1			1		6
岡部小学校	2							2
高洲小学校	2							2
高洲南小学校	4	3		1			1	9
葉梨小学校		2						2
藤枝小学校	1	1						2
藤枝中央小学校				2				2
藤岡小学校	1							1
合計	23	14	5	5	3	3	3	56

学年別参加回数人数								
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計
1年生	6	5	3	3	1		1	19
2年生	1	3	1		1	1		7
3年生	2	2		1	1	1		7
4年生	3	1	1	1		1		7
5年生	11	2					2	15
6年生		1						1
合計	23	14	5	5	3	3	3	56

学校開催日別参加人数								
	10/24	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20	合計
青島小学校	12	11	10	6	8	5	6	58
青島東小学校	6	3	3	2	1	3	6	24
大洲小学校	5	3	1	4	1	1	2	17
岡部小学校				2				2
高洲小学校	2							2
高洲南小学校	4	4	3	2	4	2	2	21
葉梨小学校	1					2	1	4
藤枝小学校	1		1	1				3
藤枝中央小学校		2	2		2		2	8
藤岡小学校		1						1
合計	31	24	20	17	16	13	19	140

参加児童のアンケート結果

参加児童29名より次の項目について1～5段階で評価してもらった結果

- ①おもしろかったですか。1人以外、4か5を選択 平均4.6
- ②勉強できましたか。全員、4か5を選択 平均4.6
- ③また来たいと思いますか。2人以外、4か5を選択 平均4.6

感じたこととして

- おもしろいこととむずかしかったことがあった。
- いつも来るのが楽しみ。
- 大学生の教え方がわかりやすい。
- 家より勉強できた。
- 勉強に集中できる。等の記述があった。

開催日別学生参加数

10/4	10/11	10/25	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20	計
3	5	9	6	7	8	5	11	7	61

学生学年別男女参加数

	2年	3年	4年	合計
男	5	6	2	13
女	2	2	0	4
合計	7	8	2	17

学生アンケート結果

- 学校体験活動や教育実習とは違った子どもたちの様子に触れることができた。
- 様々な学年の子のつまずきと対応について学ぶことができた。
- プリントの内容や取り組ませ方から子どもの意欲を高めることについて学ぶことができた。
- 各学校学年ごとの宿題を見ることができ、学ぶことが多かった。
- 内容が違うことに取り組んでいる子に対応するのがむずかしいと思い、勉強になった。
- 子どもと接する場が増えた。
- ※参加した学生は、機会があればまた参加したいと考えている。

地域・保護者からの評価

- 大学生が見てくれることで、家で取り組むより一生懸命に取り組める。
- 一緒に取り組んでいる子がいるため、集中することができる。
- 費用がかからないで子どもたちが学べる場があることはよいことだ。
- 小学生が大学生と一緒に楽しんでいる様子を見て、どちらにとってもよい学びがあると思うので、このような場は大切にしてほしい。

考察

【児童】

- それぞれやっていることは違っても、参加している子どもたちが、集中して取り組むことで、家よりも効果的に学習することができている。
- 大学生から支援してもらえることで、学習にスムーズに取り組め、結果として学習への意欲も向上した。
- 同じプリントに取り組むことで、違う学校、異学年の交流も生まれた。

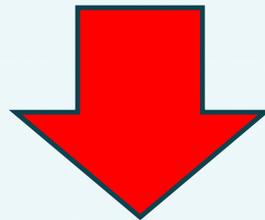
【大学生】

- 子ども一人一人に合わせた支援を考え、実践することができる。
- 学校外での子どもの様子について知ることができる。

考察

【参加児童の保護者】

○いつもと違う学ぶ場があり、子どもを預けることで、他のことに時間を割くことができる。



放課後学習支援活動を行うことによって、児童も大学生もお互いに学ぶことが多く、効果があると考えられる。また、保護者にもメリットがあると考えられる。

市への提言

- (1)子どもの放課後の学習支援、居場所づくりが、「こども子育てに優しいまちづくり」に必要である。
- (2)教員不足解消に向けて必要な活動である。

今後の改善点や対策

- 子どもの興味・関心を高め、ニーズに応えるプリントやコンテンツを工夫する。
- 参加しやすいように金曜日実施⇒水曜日実施
- 継続を望む声が多かったなので、一年を通じて実施していきたい。これについては、次年度、大学の研究企画として実施していく方向を検討している。
- 学生の人材確保 参加学生が少ない日があったため、できるだけ学生が参加しやすいよう大学の時間割を工夫する。

子どもたちが夢中になったプリント

令和6年度藤枝市地域政策研究・創造事業

藤枝子どもみらい塾

さんすうチャレンジ! No.7

なまえ

6	4	2	3	5	1	0	7	8	9
1	9	7	8	0	6	5	2	3	4
5	3	1	2	4	0	9	6	7	8
2	1	9	0	3	8	7	4	5	6
7	5	3	4	6	2	1	8	9	0
9	7	5	6	8	4	3	0	1	2
4	2	0	1	9	8	6	3	7	5
8	6	4	5	7	3	2	9	0	1
2	0	8	9	1	7	6	3	4	5
0	8	6	7	9	5	4	1	2	3

10ができた数 こ

プリントのやりかた

○たて、よこの 数を たして 10をつくります。

10が できたら、えんぴつで かこっておきます。

3つ、4つたしても いいです。

ななめの 数は たせません。おなじ 数は、1回しか つかえません。

○10ができなくなったら 10が いくつできたか かぞえて かいてくたさい。

○できた数を ホワイトボードに かいてくたさい。

5	7	4	0	3	6	1	8	9	2
0	2	9	5	8	1	6	3	4	7
9	1	8	4	7	0	5	2	3	6

静岡福祉大学子ども学部子ども学科

のりもの 2

ジェットキ

ヘリコプター

でんしゃ

くるま

タクシー

せんすいかん

ひこうき

ふね

しんかんせん

トラック

ボート

ちかてつ

たべもの 1

ぎゅうにく

とりにく

さかな

サンマ

トマト

にく

やさい

ぶたにく

マグロ

きゅうり

なまえ

静岡福祉大学子ども学部子ども学科

藤枝子どもみらい塾 10/10プリント ④